

表 移動薬局車両（モバイルファーマシー）の普及状況（橋本貴尚ら. 血圧. Vol. 26 no. 2, 2019, p98-102）

モバイルファーマシーの普及状況については、日本薬剤師会ホームページに公開されている（<http://www.nichiyaku.or.jp/>、閲覧日：2018年9月11日）。2018年9月現在、自立して災害時活動を行えると考えられる車両は日本全国に11台存在する（筆者追記：大阪府薬剤師会では、2018年8月に株式会社ユヤマと「災害時調剤支援車」の利用について提携を結びました。同様なケースが全国各地にあるかと思いますが情報収集が追いついておりません）。購入に際しては、それぞれの地域の補助金を活用している

機能・装備、活動実績については、筆者が関係組織に直接問い合わせたり、ホームページを閲覧するなどして収集した。従って、十分に収集し切れていない部分があるかもしれない。情報収集期間：2018年9月～11月

表内の色つきは大規模災害（ただし、地震と豪雨に限って記載）並びにその発生月を示している。

導入年	所有団体	機能・装備、活動実績など (色つき部分については、災害薬事の概要)	引用元
2011年3月	東日本大震災	<ul style="list-style-type: none"> 津波被害により、被災者の内服薬やその情報（お薬手帳など）が喪失した。 避難所生活の長期化、避難所の劣悪な環境衛生（寒さなど）により、高血圧を始めとする各種慢性疾患の発症・増悪が問題となった。 医薬品の需要と供給のミスマッチが発生し、必要な場所に必要な医薬品が行き渡らない一方、大量の不動在庫が発生した。 	日本循環器学会/日本高血圧学会/ 日本心臓病学会編、災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン2014、他
2012年9月	宮城県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 調剤設備：錠剤棚・引き出し（約500種類の薬を収納）、調剤台、散薬分包機、流し台秤量天秤、清水 装備：ポータブル発電機、ディープサイクルバッテリー、ソーラー発電機、生活用水タンクなど。 寒冷地仕様 燃料：軽油（燃費：約9km/L） 普通免許で運転可能、定員3名 	宮城県薬剤師会より情報提供

		・費用：1,300万円前後（トヨタ カムロードを改造）	
2014年1月	大分県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入 ・熊本地震の際に活動を行った。	大分県薬剤師会ホームページ
2014年2月	和歌山県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入 ・熊本地震の際に活動を行った。	和歌山県薬剤師会ホームページ
2015年9月	関東・東北豪雨	・県と医薬品卸業組合との協定に基づき、流通備蓄医薬品が供出。 ・被災地周辺の薬局は機能しており、災害薬事は限定的。	若林進, 杏林医会誌 46 : 285, 2015.
2016年3月	広島県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入 ・熊本地震、平成30年7月豪雨災害の際に活動を行った	広島県薬剤師会ホームページ
2016年4月	熊本地震	・大分、和歌山、広島各県薬剤師会所有の計3台のモバイルファーマシーが活躍した ・災害薬事コーディネーターが医薬品供給の調整を行い、過不足は概ね発生しなかった。	田上直美, et al., 日本血栓止血学会誌 28 : 692, 2017.
2016年7月	鳥取県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入	鳥取県薬剤師会ホームページ
2017年1月	八千代市薬剤師会（千葉県）	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入	八千代市薬剤師会ホームページ
2017年8月	シスメックス株式会社、株式会社トランスポートシステムズ（兵庫県薬剤師会に無償貸与）	・シスメックスが移動薬局車両の貸与を、トランスポートシステムズが運転手の確保、車両の運行、設置時の車両操作を行う。 ・災害時に兵庫県薬剤師会が無償貸与を受ける協定を結んだ。 ・装備：薬剤棚、散薬分包機、水薬調剤設備、保冷庫	シスメックス株式会社ホームページ 株式会社トランスポートシステムズホームページ
2017年12月	三重県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入	三重県薬剤師会ホームページ
2017年12月	岐阜薬科大学	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入	岐阜薬科大学ホームページ
2018年3月	静岡県薬剤師会	・宮城県薬剤師会と同一車両を導入	静岡県薬剤師会ホームページ
2018年3月	熊本県薬剤師会	・3.5tトラック（いすゞ ELF、「準中型免許」が必要）を改造、定員6名	熊本県薬剤師会ホームページ

		<ul style="list-style-type: none"> ・調剤設備：調剤棚、自動分包機、冷蔵庫、流し台など。 ・費用：約 2,500 万円 	薬事日報 2018 年 5 月 7 日記事
2018 年 7 月	平成 30 年 7 月豪雨	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県が移動薬局車両を派遣していた。 	関係者より聴取